シンポジウム記録

水産学と地域連携：道南における新海洋産業網の形成にむけて

安井 肇, 足立 伸次, 川合 祐史, 佐伯 宏樹, 高橋 是太郎 (北大院水産)

Fisheries science and regional alliance:

Striving to build a new marine industrial network in southern Hokkaido

HAJIME YASUI, SHINJI ADACHI, YUJI KAWAI, HIROKI SAEKI AND KORETARO TAKAHASI

Faculty of Fisheries Sciences, Hokkaido University, Hakodate, Hokkaido 041-8611, Japan

はじめに

函館を中核とする道南地域は、独特の歴史と観光地としての知名度、海域特性を背景とした生物種の多様性等をもつため、生産から加工、流通を含めて総合的な付加価値の高い水産業として、持続的に発展することが期待されているエリアである。現在、このエリアでは、函館国際水産・海洋都市構想のもと、文部科学省都市エリア産学官連携促進事業-道南圏・イカとガゴメのライフサイエンス (H15.4~H18.3)、同事業 (発展型) マリン・イノベーションによる地域産業網の形成 (H18.4~H21.3) において、ガゴメ昆布等の海藻類とイカ等の有用水産動物に関する基礎および応用研究が産学官連携のもとに推進され、現実的経済効果として実を結びつつある。

そこで、地域の特性を生かした水産学研究と応用の成果、都市・社会への波及効果、問題点、課題をまとめ、水産学と地域連携のあり方、今後の可能性について討議するため本シンポジウムを以下のプログラムに従って開催した。

〈プログラム〉

水産学と地域連携：

道南における新海洋産業網の形成にむけて

企画責任者：安井 肇・足立伸次・川合祐史・佐伯宏樹
・高橋是太郎 (北大院水産)

開会の挨拶 山内皓平 (北大院水)

趣旨説明 足立伸次 (北大院水)

I. 水産に特化した産学官連携と地域活性化

座長 高橋是太郎 (北大院水)

1. 国際水産・海洋都市構想と地域活性化

高 日出人 (函館市)

2. 文部科学省都市エリア産学官連携促進事業

池田 滋 (函館地域産振財団)

II. 産学官連携事業の成果と波及効果

II-1. 水産食品の流過程における安心・安全の確保

座長 宮嶋克己 (道立工技セ)

1. 生鮮イカの鮮度保持メカニズムとビジネス展開

吉岡武也 (道立工技セ)

2. 微生物モニタリングに関する新システムの開発

大坪雅史 (道立工技セ)

3. 水産物トレーサビリティの実用化と普及に向けて

三上貞芳 (はこだて未来大)

II-2. 水産資源の機能的な高度利用と品質向上

座長 川合祐史 (北大院水)

1. 海藻多糖類の機能・食品特性の活用

錦織孝史 (道立食加研)

2. 多様な水産物に対するフードデザイン技術の開発

小西靖之 (道立工技セ)

3. イカ墨ユーメラニン色素の特性とその活用

上野 孝 (函館高専)

II-3. 特殊成分を含有する海藻の探索と連鎖型マリンガーデンの形成

座長 安井 肇 (北大院水)

1. 海藻中に含まれる多機能性カロテノイド、フコキサンチン

宮下和夫 (北大院水)

2. 特殊成分を増幅回収するマリンガーデン

谷 敬士 (北大院水)

III. 総合討論：道南における新海洋産業網の形成

座長 高橋是太郎 (北大院水)

安井 肇 (北大院水)

川合祐史 (北大院水)

宮嶋克己 (道立工技セ)

高 日出人 (函館市)

閉会の挨拶

米田義昭 (函館地域産振財団)